

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No. 142

(2026. 9.27)



作業前の点検

FDCAT
福生災害ボランティアチェーンソー隊



今回の
作業内容

今回も、草刈り作業報告のみです。

今回もオオブタクサやコセンダングサを刈るという作業に終始しました。

前回同様、10人の参加者が10台の刈り払い機を使っての作業となりました。また、天気は曇で涼しい作業となりました。

休憩時間に、今月の雨の多いことと日照不足により農産物の生育不良の話のほか、千葉県印旛沼での堤防の決壊により大規模な被害が出ていることに、一同共通の関心ごとになりました。そこで、現在流域治水という考え方の中に、Eco-DRR(エコシステムを基盤とした上で災害のリスク軽減の考え方と方法など)という考え方を紹介しました。

私たちが作業しているのは多摩川流域のごく一部の場所ですが、このささやかで地元の住民の参加と河川管理者との協働の取り組みが、近い将来の河川の安全を図る上での一歩になるかもしれないと考えて実践しているからです。

千葉県印旛沼周辺の被災状況を見て、身近な場所での災害発生と対処方法について、住民側も実践を通じた学びが必要だと感じました。



作業内容の確認

